



企画展「素材で楽しむ楽器たち」終わる

この企画展では、竹、ヒョウタン、木、皮、骨、貝、石、金属、プラスチックなど、さまざまな素材で作られた楽器120点を展示しました。

現在では科学技術や輸送手段の発達のおかげで、最適な素材を世界から集めて楽器を作ることができますが、以前は身の回りにある素材を使い、その特徴を活かして、人々は楽器を作ってきました。ヒョウタンの中身を取り除いて空洞にして音を響かせる装置にしたり、竹のように中が空洞のものを笛にしたり、それぞれの素材が持つ特性を上手に利用してきました。この展示では、楽器に使われる素材の多様性に加えて、人間の知恵と工夫もテーマに紹介しました。展示室は、動物、植物、鉱物の素材ごとに楽器を紹介する展示コーナーと、ストロー笛を作る工作コーナー、体験コーナーを設置しました。

展示コーナーのなかでも、お客様が特に興味をもたれたのは骨の楽器でした。人間の大腿骨で作られたチベットのラップ「ガニラン」、馬やロバの下あごの骨をたたいて音をだすキューバの「キハーダ」、コロンビア、パナマの骨の笛などを見て、「どうやって演奏するのか?」「いまでも作られるのか?」などの質問を寄せられました。

ストロー笛コーナーでは、ストローを使ってお客様に笛を作る工作を楽しんでいただきました。ストローは、私たちにとって身近な素材ですが、片方の穴をふ

さぎカッターで切り目(リード)を入れ息を吹くことで、音が鳴ります。さらに指孔をつけると、ドレミを演奏できる楽しい楽器になります。この工作は大変人気があり、二日間続けて工作に来た子供もいました。

また、企画展開催中は、素材をテーマにミニ・コンサートも開催しました。ストローおじさんで有名なストロー笛奏者の神谷徹さん、草笛の奏者の加茂光廣さん

による演奏は、それぞれの素材を上手に活かした楽しいコンサートでした。(詳細は2ページ)夏休みということもあり、多くの家族連れのお客様に楽しんでいただきました。



企画展「知恵と工夫の万華鏡—素材で楽しむ楽器たち」

会期：平成19年8月1日(水)～9月2日(日)
会場：第4展示室 入場者：15,552人
協力：株式会社イズミ石材(香川県)、大阪音楽大学音楽博物館、群馬県立日本橋の里、名古屋港水族館、ハワイアンパラダイス・フラ(浜松市)、野外民族博物館リトルワールド(犬山市)、神谷徹、加茂光廣、サカキマンゴ、志波靖磨、清水虔、鈴木悟、西岡信雄(敬称略50音順)

夏休みはいろいろな楽器をテーマにミニ・コンサートを開催

日本のお琴・箏

日時：7月22日(日) 14:00、15:30
 出演：島津成悠(箏、胡弓)、島津成香、岡井千春、日吉弘美(箏)

日本の伝統楽器である箏。私たちはよく「お琴」と呼びますが、正しくは「箏」といいます。今回は、「春の海」や島津さんのオリジナル曲「花の舞曲」などを「箏」や大型の箏「十七絃」で合奏や独奏をしました。泣くような音色の胡弓との合奏で聞く「六段の調べ」はとても新鮮でした。



いろいろな草笛

日時：8月16日(木) 14:00、15:30
 出演：加茂光廣(草笛)

椿やおしろい花などの葉を口にあてて吹く草笛の音色は、とてもただの草とは思えないほど良い音です。配られた葉っぱで、お客さんも草笛に挑戦しました。加茂さんの吹くメロディーに合わせて合の手を入れます。うまく音が出ず、笑いながらも懸命に吹く姿が客席のあちらこちらに見られました。



イタリアの土笛・オカリナ

日時：7月29日(日) 14:00、15:30
 出演：小林理子(オカリナ)

オカリナは陶土製の笛で、19世紀にイタリアで考案されました。手のひらサイズから30cmほどの大きさのものまであって、小林さんはいろいろな種類のオカリナで、「コンドルは飛んで行く」などの曲を演奏しました。優しい音色はお客様に好評で、終演後に熱心に質問されているかたもいらっしゃいました。



アメリカ生まれの楽器・バンジョー

日時：8月18日(日) 14:00
 出演：ジェフリー・ヤマダ(バンジョー)、山田?(ギター)、原さとし(お話)

日本バンジョープレイヤーコンテストで1位に入賞した、ジェフリー・ヤマダさんの演奏でオールタイム音楽をお楽しみいただきました。バンジョーの歴史の解説と、陽気な音色をお客様は熱心に聞かれています。



愉快的ストロー笛

日時：8月5日(日) 14:00
 出演：神谷徹

ストロー笛は、神谷徹さんが考案、開発した笛で、楽曲ごとに専用の笛を使って演奏します。曲のイメージに合わせて作られた笛は見ためにも楽しいですが、さらに楽しい仕掛けが隠されていました。童謡「シャボン玉」を演奏すると、シャボン玉がストロー笛から飛び出しました。誰もが童心にかえて感動していました。楽しく愉快的コンサートでした。



ドラム缶の楽器・スチール・パン

日時：8月25日(日) 14:00
 出演：楽器博パンバンド

トリニダード・トバゴの国民楽器スチール・パンを、当館スタッフによる演奏と解説で紹介しました。ドラム缶から奏でられる音は、陽気で明るく、展示室は終始楽しげな雰囲気につつまれました。終演後は、お客様がパンにふれたり、熱心に質問されていました。



マリンバと打楽器

日時：8月9日(木) 15:30
 出演：小学生打楽器合奏団(マリンバ、打楽器)

研修交流センターで行われた打楽器のセミナーに参加した子どもたちが、楽器博物館で演奏を披露してくれました。マリンバだけではなく、手作りの打楽器を使って、独創的な音楽を演奏してくれました。全身を使って、のびのびと表現する姿がとても印象的でした。



南米のハーブ・アルパ

日時：8月12日(日) 14:00、15:30
 出演：長島忠之(アルパ)、望月有美(エレクトーン)

アルパは、ヨーロッパのハーブが南米で土着化した楽器です。ペダルがないのが特徴です。その音色は、どこか懐かしいような響きで心に染み渡りました。中国民謡など5曲ほど演奏し、終演後はお客様がアルパにふれたり、説明を熱心に聞いたりしていました。



復活した民俗芸能を取材 ～遠州大念仏・呉松～

浜松の伝統的民俗行事に遠州大念仏があります。この大念仏は、三方原合戦で戦死した武田信玄軍の霊を供養するために徳川家康の命で始まったと伝えられています。市内各地に残っていますが、浜名湖の北東岸、呉松地域に残る大念仏は、他の地域のものとは異なって特異な存在です。衣装も黒紋付で菅笠を被り、太鼓の演奏も跳びはねることはありません。昭和32年には県指定無形民俗文化財に指定されましたが、40年頃後継者不足で活動休止。平成7年に自治会が努力して保存会を結成し復活をめざして努力。部分復活しながら努力を重ね、15年には完全復活。楽器博物館では今年8月13日に行なわれた盆の回向を、写真とビデオテープに収めました。



第71回レクチャーコンサート「ナチュラル・ホルンの愉しみ」 モーツァルト時代のホルン音楽の魅力を探求



日 時：平成19年9月2日(日) 14:00
 会 場：アクトシティ浜松音楽工房ホール
 出 演：塚田聡(ホルン)、
 小倉貴久子(フォルテピアノ)
 入場者：163人

「ナチュラル・ホルンの愉しみ」と題して、F.ダンツィの「ホルンソナタ 変ホ長調 作品28」やモーツァルトの「ホルン協奏曲 二長調 K.412」、ベートーヴェンの交響曲のホルンパートなどを、ホルンの名手である塚田聡さんの演奏と、小倉貴久子さんによるフォルテピアノの伴奏でお楽しみ頂きました。

モーツァルトやベートーヴェンの時代のホルンは、現代のホルンのようなヴァルヴ(変音装置)がついておらず、ナチュラル・ホルンと呼ばれています。音程を変えるためには唇の形を変えたり、ベルに差し込んだ手で調節するストップ奏法を用います。今回は舞台袖にカメラを用意してベルの中の様子を映し、演奏者の手の動きをスクリーンで見られるようにしました。演奏には塚田さん所有のナチュラル・ホルン(アンドレアス・ユングヴィルト作/1990年/18世紀フレンチモデルにもとづくコピー楽器)と、当館所蔵のナチュラル・ホルン(クルトワ作/1841年以前/パリ)や狩猟ホルン(1825年頃/ドイツ)を使用しました。伴奏には、フォルテピアノの名器(ワルター&サン作/1810年/ウィーン)を使い、当時の響きを再現しました。

世界の楽器 演奏入門ワークショップを開催

ジャワ・ガムラン

日 時：7月7日(土) 17:15、19:30
 会 場：楽器博物館展示室
 講 師：中川真(大阪市立大学大学院教授)
 参加者：38人

ガムランは、インドネシアに古くから伝わる青銅打楽器のセットで、地域によってスタイルは異なります。今回取り組んだジャワ島のガムランは、宮廷を中心に発達し、荘厳でゆったりとした響きが特徴です。中川真さんを講師に迎え、演奏法を教わりました。慣れるまでには時間がかかりましたが、次第に曲がまとまっていき、最後には美しい響きとなりました。ジャワ島の人々が神様のように大切にしている楽器、ガムラン。演奏を続けるうちに、参加者の中にも、楽器を敬う気持ちが自然と湧いてきたようです。



バンジョー

日 時：8月19日(日) 10:30、13:00
 会 場：アクトシティ研修交流センター
 講 師：原さとし(バンジョー演奏家)
 参加者：28人

バンジョー演奏家の原さとしさんを講師に招き、バンジョーの演奏体験ワークショップを開催しました。子どもから大人まで、幅広い世代の方々が集まりました。まずは、バンジョーの古い楽器や資料を交え、歴史について、お話を聞きました。その後、参加者は簡単にできるように工夫された教材の中から好きな曲を選び、先生から手ほどきを受けます。バンジョーの陽気な音色が響き、そこはアメリカにいるような気分。最後に、先生の即興演奏とともに、練習した曲を発表しました。歌を口ずさみながらお互いの発表を応援する参加者の姿が印象的でした。



ジェンベ

日 時：7月8日(日) Aコース13:00、Bコース15:00
 会 場：アクトシティ研修交流センター
 講 師：寺崎卓也(ジェンベ奏者)
 参加者：18人

アフリカの太鼓ジェンベは、手の形や叩く位置によって「トゥン」「カッ」「ドゥーン」という、3つの音が出ます。この3つの音を巧みに組み合わせて、複雑なリズムを刻みます。

楽譜は無く、全て先生の手本を見て体で覚えていきます。フレーズごとに少しずつリズムを体得していくと、いつの間にか複雑なリズムが完成します。覚えたばかりのリズムを更に2グループに分け、組み合わせで合奏をしたり、違う種類の太鼓や打楽器とセッション

をしたりとワークショップは佳境へと入っていきます。思い切り叩くので、手は真っ赤になり痛くて痺れてきますが、それでもたどたどしかった手元は、いつしか力強くジェンベを捉え、リズムを覚えるのに苦戦して不安げだった受講生の表情は、どことなく自信のついた勇ましい顔つきになっていきました。

アフリカの大地を思わせる、力強いリズムが鳴り響く賑やかなワークショップとなりました。



企画展「親指ピアノ」まもなく開催

会期：11月3日(土)～12月2日(日)

会場：楽器博物館 第4展示室

(常設展観覧料でご覧いただけます)

リンバ、チリンバ、イリンバ、イケンベ、ムピラ、サンザ。ヨーロッパ人が親指ピアノと呼ぶ素朴な楽器。アフリカ各地に見られるこの素朴な楽器の魅力を紹介し、期間中はミニ・コンサートと、ワークショップも開催します。



<ワークショップ>

11月17日(土)13:00、15:00

講師：サカキマンゴー

(参加費500円、要申込)

<ミニ・コンサート> (展示室にて開催)

11月3日(日)14:00、15:30 演奏：ンピラ・ンゴマ

11月18日(日)14:00、15:30 演奏：サカキマンゴー

12月2日(日)14:00、15:30 演奏：ズパ・ネス・ズパ・ンピラ

◆これからの催し物

- ミュージアムサロン 職員やゲストによるミニ・コンサート
 - 10/14(日)「デュオ・ピアノ」出演：森本佐知子、川村友美(当館職員)
 - 10/21(日)「アフリカの楽器いろいろ」出演：ロビン・ロイド
 - 11/3(土)「ムピラ」出演：中村由紀子
 - 11/18(日)「リンバ」出演：サカキマンゴー 14:00、15:30
 - 11/11(日)「チェンバロ」出演：小玉宏
 - 12/2(日)「ムピラ」出演：中村由紀子
 - 12/16(日)「チェンバロオルガン」出演：森本佐知子(当館職員)
 - 12/23(日)「チェンバロオルガン」出演：川村友美(当館職員)
- ※時間は開催日により異なりますので、お問い合わせください。
- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
 - ※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日10:00～16:00
 - 1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 企画展「アフリカからの贈り物・親指ピアノ」
 - 11/3(土)～12/2(日) 第4展示室
 - リンバ、イケンベ、ムピラ、サンザなど、欧米では親指ピアノと呼ぶアフリカの素朴な楽器の魅力を紹介し、
- レクチャーコンサート
 - 「アイリッシュ・アフタヌーン～ホイッスルとダンスの至芸～」
 - 10/7(土)14:00 アクトシティ音楽工房ホール
 - 演奏：ショーン・ライアン(ホイッスル) アン・カラナン、キアラ・ライアン(ダンス)、守安功&雅子(お話、フルートほか)
 - 「18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界～博物館所蔵の名器“ブランシェ”による～」
 - 12/1(土)14:00 アクトシティ中ホール
 - 演奏：中野振一郎(クラヴサン<チェンバロ>)
- 講座「楽器の中の聖と俗」
 - 14:00 アクトシティ研修交流センター
 - 10/20(土)第40回「食器・武器・楽器」
 - 12/15(土)第41回「揺る音文化」
 - 講師：西岡信雄(大阪音楽大学教授)
- 世界の楽器体験ワークショップ
 - 10/12(金)・13日(土)「ジャワ・ガムラン(中級)」各日 18:00
 - 講師：中川真(大阪市立大学教授)
 - 11/17(土)「リンバ(親指ピアノ)」
 - Aコース 13:00 Bコース 15:00
 - 講師：サカキマンゴー(アフリカ音楽研究家・リンバ奏者)
 - 12/2(日)「チャンゴ(初級)」
 - Aコース 13:00 Bコース 15:00
 - 講師：イ・チャンソプ(サムルノリ研究家)

浜松市政令指定都市移行記念レクチャーコンサート

「18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界～博物館所蔵の名器“ブランシェ”による～」

日時：12月1日(土) 14:00

会場：アクトシティ浜松中ホール

出演：中野振一郎(チェンバロ奏者)

入場料：大人1,500円 学生800円

チケット：楽器博物館、アクトシティチケットセンター、チケットぴあにて発売中

このコンサートでは、当館所蔵の名器、パリの名工 F. E. ブランシェ2世が1765年に製作した世界的にも貴重なクラヴサン(チェンバロ)を使用します。中野振一郎さんにより、クーブラン、ラモー、フォルクレ、デュフリなど、ロココ文化を代表する音楽作品が演奏されます。典雅で優雅この上ない、クラヴサン音楽の美の世界をお楽しみください。



12/9(日)「チャンゴ(中級)」13:00

講師：イ・チャンソプ(サムルノリ研究家)

◆博物館日誌

- 7/1(日)市制記念日 無料開放 入館者614名
- 7/7(土)ワークショップ「ジャワ・ガムラン(初心者コース)」17:15、19:30 講師：中川真 参加者38名
- 7/8(日)ワークショップ「ジェンベ」13:00、15:00 講師：寺崎卓也 参加者18名
- 7/9(月)～7/10(火) 移動楽器博物館(浜松市立下阿多古小学校)
- 7/22(日)ミュージアムサロン「箏」14:00、15:30 演奏：島津成悠ほか 参加者105名
- 7/29(日)ミュージアムサロン「オカリナ」14:00、15:30 演奏：小林理子 参加者109名
- 8/1(水)～9/2(日)企画展「知恵と工夫の万華鏡・素材で楽しむ楽器たち」入館者15,552名
- 8/5(日)企画展ミニ・コンサート「愉快的なストロー笛」14:00 演奏：神谷徹 参加者190名
- 8/12(日)ミュージアムサロン「アルパ」14:00、15:30 演奏：長島忠之、望月有美 参加者162名
- 8/16(木)ミュージアムサロン「草笛」14:00、15:30 演奏：加茂光廣 参加者145名
- 8/19(日)ワークショップ「バンジョー」10:30、13:00 講師：原さとし 参加者28名
- ミュージアムサロン「バンジョー」15:30 演奏：ジェフリー・ヤマダほか 参加者203名
- 8/21(火)県民の日 無料開放 入館者920名
- 8/26(日)ミュージアムサロン「スチールパン」14:00 出演：楽器博パンバンド 参加者110名
- 9/16(日)ミュージアムサロン「薩摩琵琶」14:00、15:30 演奏：森田英代子、山崎玲子 参加者205名
- 9/30(日)ミュージアムサロン「ホルン」14:00、15:30 演奏：松浦謙 参加者75名

<お詫び>

本紙7月1日号にて、9月16日開催「薩摩琵琶・ミニコンサート」の出演者を、「浜松琵琶楽協会士弦会」と記載しておりましたが、正しくは、檜木鶴苑さん、山崎光瑤さんのお二人です。訂正しお詫びいたします。

利 用 案 内

開館時間：午前9:30～午後5:00

休館日：毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日

常設展観覧料：個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)

大人(大学生以上) 400円 320円 240円

中人(高校生) 200円 160円 120円

※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成19年10月1日発行 No.49

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1

TEL. 053-451-1128

FAX. 053-451-1129

URL: <http://www.gakkihaku.jp>

MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp

印刷 株式会社シバプリント